

1 ESDとは

ESDとは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略です。

ESDでは、現代社会の課題（環境・貧困・人権・平和・開発等）を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動を進めています。

2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ）」で我が国がESDの重要性を提唱し、これを受け、同年、国連第57回総会決議により、2005年から2014年までの10年を「国連ESDの10年」とし、ユネスコが主導機関に指名されました。

2 ESD ユネスコ世界会議の概要

（1）会議名称

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議

（2）開催日程

平成26年11月10日（月）～12日（水）（閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合）

※ 11月13日（木）には、フォローアップ会合を開催予定

（3）開催場所

名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）

（4）主催

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）、日本政府

（5）参加者

国内外の閣僚、政府関係者など約1,000人を含む数千人規模の参加を想定

（6）目的

「国連持続可能な開発のための教育の10年」の活動を振り返り、2014年以降の方策についての議論を行う。

※ 岡山市では、各種ステークホルダー会合を開催予定

3 ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会（平成24年5月設立）

（1）目的

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」の会議支援及びESDの普及啓発・取組促進。

（2）構成員

会 長：愛知県知事

会長代行：名古屋市長

副 会 長：名古屋商工会議所会頭、一般社団法人中部経済連合会会長

委 員：愛知学長懇話会代表幹事、中部ESD拠点代表、内閣官房内閣審議官、外務省地球規模課題審議官、文部科学省国際統括官、環境省総合環境政策局長、愛知県市長会会長、愛知県町村会会長、愛知県教育委員会教育長、名古屋市教育委員会教育長、愛知県副知事、名古屋市副市長、名古屋商工会議所専務理事、一般社団法人中部経済連合会専務理事